

平成28年度の学校経営方針に基づいた学校評価を以下のように進める。

- ①具体的な方策ごとの教職員による自己評価（12月に実施） ②保護者アンケート（12月に実施） ③児童アンケート（7.12月に実施）

学校教育目標	かしこく 進んで取り組む子 深く考え豊かに表現する子 ◎あたたかく 仲良く助け合う子 全ての命を大切にする子 つよく 健康でたくましい子 最後までやりぬく子	重点目標 あたたかく 仲良く助け合う子 全ての命を大切にする子
---------------	---	--

A ◎ 十分達成 B ○ 達成 C ▼ 未達成

学校教育目標	中期的目標	短期的目標	具体的な方策	評価指標	達成状況		分析	改善策	学校関係者評価
					中間評価	最終評価			
かしこく	よさ、可能性を伸ばし、自己肯定感を育てる学校	①基礎的・基本的な確かな学力の定着	ユニバーサルデザインの授業の推進	教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	○	教職員の自己評価結果肯定的な評価85%	更に充実を図り、今後とも継続する。	◇漢字の広場 自分たちで考えたものを積極的に発表していた。先生も子供たちを誉めていて素晴らしいと思った。 ◇1年生のいぬぼうかるたでみんなのきもちカルタが偏った時点で、取りやすい方法を自分たちで考えているのが良かった。 ◇国語の授業 授業の雰囲気明るくて、児童の表情がいい。
			問題解決的な学習の重視	教職員の自己評価、児童及び保護者のアンケートで肯定的評価8割以上を目指す。	—	○	教員、児童の肯定的な評価の割合は90%を越えた。	保護者への理解を得るために、学校公開等を工夫する。	
			基礎学力の定着	放課後学習教室の活用状況と教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	全ての評価で肯定的な評価の割合が90%超	実施の状況を結果につなげる。	
			二小スタンダードに基づく学習習慣の確立	教職員の自己評価、児童及び保護者のアンケートで肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	全ての評価で肯定的な評価の割合が90%超	保護者への理解が図られるようになった。	
		②「できる・わかる授業」「楽しい授業」をめざした自己研鑽	授業改善	教職員の自己評価、児童及び保護者のアンケートで肯定的評価8割以上を目指す。	—	○	教員の肯定的な評価の割合は90%を越えた。	保護者への理解を得るために、学校公開等を工夫する。	
			OJTによる教員の育成	教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	▼	教員の自己評価の肯定的な評価の割合は70%以下。	日常の会議をOJTに位置づけることを徹底。	
			職層、経験等に応じた研修	講師を招いての授業研究年3回し、教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	▼	教員の自己評価の肯定的な評価の割合は70%程度。	校内研究は良好。体系的な研修の実施が課題。	
			食物アレルギーのある子どもへの理解及び対応	給食誤食等の事故発生を防ぐとともに、教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	教員の肯定的な評価の割合は90%を越えた。	更に充実を図り、今後とも継続する。	
		③新しい教育課題への積極的な対応	幼稚園や保育園、中学校との連携	学校行事等で交流、連携を図るとともに、教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	教員の肯定的な評価の割合は90%を越えた。	更に充実を図り、今後とも継続する。	
			情報モラル教育の推進	SNS東京ルールをもとにした情報モラル教育を推進し、タブレット型PC等の活用を図ることに関する教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	○	教員の肯定的な評価の割合は80%を越えた。	SNS東京ルールの取組は予定通りできた。児童、家庭への定着が課題である。	
			国際理解、伝統文化教育の推進	教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	教員の肯定的な評価の割合は90%を越えた。	更に充実を図り、今後とも継続する。	
			言語活動の充実	教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	教員の肯定的な評価の割合は90%を越えた。	更に充実を図り、今後とも継続する。	
			危機管理体制の徹底	危機管理体制を整備を図るとともに、教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	教員の肯定的な評価の割合は90%を越えた。	更に充実を図り、今後とも継続する。	
			地域や保護者との協力	協力体制についての見直しを図るとともに、教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	教員の肯定的な評価の割合は90%を越えた。	更に充実を図り、今後とも継続する。	
			集団登校や縦割り班活動の充実と良好かつ多様な人間関係の構築	教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	教員の肯定的な評価の割合は90%を越えた。	更に充実を図り、今後とも継続する。	
		④夢の素材を育むキャリア教育	二松タイムを中心としたキャリア教育の充実	教職員の自己評価、児童及び保護者のアンケートで肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	全ての評価で肯定的な評価の割合が90%超	保護者への理解が図られるようになった。	
			集団への所属意識を高め、自己肯定感を育てる指導の充実	教職員の自己評価、児童及び保護者のアンケートで肯定的評価8割以上を目指す。	—	○	全ての評価で肯定的な評価の割合が90%超	保護者への理解が課題である。保護者への理解を得るために、学校公開等を工夫する。	
			いじめの根絶	いじめの早期発見、組織的な対応に努め、教職員の自己評価、児童及び保護者のアンケートで肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	全ての評価で肯定的な評価の割合が90%超	いじめの早期発見、丁寧な未然防止に努める。	

◇児童のアンケートで否定的な児童に個別に聞き取ったりしないのか。いじめアンケートについても丁寧な聞き取りが必要である。

あたたかく	健康な心身と豊かな情操・心情を育む学校	①心を育てる	体罰の根絶	体罰ゼロを徹底し、教職員の自己評価、児童及び保護者のアンケートで肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	全ての評価で肯定的な評価の割合が90%超。	教員の指導の意図を児童にしっかりと伝えることが大切である。	◇「学校は楽しい」であてはまらない。子供は自分の感情を分析できない。学校生活への不満のサインを出している。 どのようにとらえるか、うけとめるか、話を聞いてやるか。児童の声をしっかりと聴いて心を温めてやって欲しいと思う。 ◇「学校が楽しい」に対して「あてはまらない」と答えた2%のフォローが大切ではないか。 ◇不登校の状況とその対応はどうなっているのか。 ◇「自分の気持ちをコントロールできない」が多い。 何か実態として感じることはあるか。
			道徳教育の充実	計画された道徳授業の完全実施及び教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	▼	教員の自己評価の肯定的な評価の割合は70%程度。	実施率は問題なし。道徳の教科化に向けた準備を計画的に進めていく。	
			二小スタンダードに基づく生活指導の徹底	教職員の自己評価、児童及び保護者のアンケートで肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	全ての評価で肯定的な評価の割合が90%超。	保護者への理解が図られるようになった。	
			豊かな環境を活用した心を育む教育活動の推進	教職員の自己評価、児童及び保護者のアンケートで肯定的評価8割以上を目指す。	—	○	全ての評価で肯定的な評価の割合が80%程度。	更に充実を図り、今後とも活用、維持に努める。	
			読書活動の充実	教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	全ての評価で肯定的な評価の割合が90%超。	更に充実を図り、今後とも継続する。	
			音楽活動、創作活動等の心を育てる文化的な行事、活動の充実	文化的な行事における保護者のアンケート及び教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	保護者及び教員の肯定的な評価の割合が90%超。	更に充実を図り、今後とも継続する。	
			合理的な配慮に基づく教育を推進	教職員の自己評価、児童及び保護者のアンケートで肯定的評価8割以上を目指す。	—	▼	保護者の評価では肯定的な評価の割合が90%超。教員の評価で課題があった。	障害理解教育につながる取組が計画通りにできなかった。次年度は計画通りに進めていく。	
	②合理的な配慮に基づくインクルーシブ教育の推進	保護者への啓発と関係機関との協力・連携	教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	保護者及び教員の肯定的な評価の割合が90%超。	更に充実を図り、今後とも継続する。		
		校内体制の充実	教職員の自己評価で肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	保護者及び教員の肯定的な評価の割合が90%超。	更に充実を図り、今後とも継続する。		
つよく	健康な心身と豊かな情操・心情を育む学校	①体力づくり健康づくり	体育・健康に関する指導の充実	教職員の自己評価、児童及び保護者のアンケートで肯定的評価8割以上を目指す。	—	◎	保護者及び教員の肯定的な評価の割合が90%超。	更に充実を図り、今後とも継続する。	
			オリンピック教育・パラリンピック教育の推進	教職員の自己評価、児童及び保護者のアンケートで肯定的評価8割以上を目指す。	—	▼	教員の肯定的な評価の割合が70%程度。	まずは教員の理解を図り、実践につなげる。	
			校庭を活用した体力づくりの推進	芝生化された校庭を活用し、心身の調和的な発達を促す。	—	◎	保護者及び教員の肯定的な評価の割合が90%超。	更に充実を図り、今後とも継続する。	
			薬物乱用防止教育の推進	薬物乱用防止教育の推進に努め、正しい知識と望ましい生活習慣を身に付ける。	—	▼	教員の肯定的な評価の割合が60%程度。	計画の周知し、計画にと違った実施を行う。	
その他		郷土愛を育む教育	学習成果の発信	教職員の自己評価、保護者のアンケートで肯定的評価8割以上を目指す。		◎	保護者及び教員の肯定的な評価の割合が90%超。	更に充実を図り、今後とも継続する。	◇評価方法について 上級生と下級生で受け取り方が変わってくるのではないかと。下級生から高学年になるとどのような変化があるのか見たい。

到達の指標

A 90%以上◎

B 80%以上○

C 80%未満▼